

## 平成28年度第1回 奈良市環境基本計画推進会議の意見の概要

開催日時	平成28年7月27日（水）午前10時から11時30分まで
開催場所	奈良市役所 中央棟6階 第二研修室
意見等を求める内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良市の環境に関するアンケート調査結果について</li> <li>・奈良市環境基本計画（改訂版）中間見直し及び奈良市地球温暖化対策地域実行計画の改訂について</li> <li>・今後の予定について</li> </ul>
参加者	出席者 6人 ・ 事務局 4人
開催形態	公開（傍聴人 0人）
担当課	環境部 環境政策課

### 意見等の内容の取り纏め

#### 《開会》

平成28年度第1回奈良市環境基本計画推進会議開催にあたり事務局による概要説明の後、出席者に意見等を求めた。

#### 《意見を求めた内容及びそれらに対する意見等》

奈良市の環境に関するアンケート調査結果について、事務局による説明のあと、参加者に意見を求めた。

奈良市の環境に関するアンケート調査を4月から5月にかけて実施した。回収状況は市民アンケートが1,500人中739人で回収率が約49.2%、事業所アンケートが500社中206社で回収率が41.2%で概ね前回調査時と同程度の回答率であった。その集計結果について抜粋してその概要を報告した。

#### 【市民アンケートについて】

問2「回答者の小学校区別の割合」について、概ね前回と同様の割合となっているが、前回と比較し中部ゾーンの回答割合が減少していた。

問3「奈良市の環境の満足度」について、「とても満足」、「やや満足」の回答割合が多かった項目及び「不満」、「やや不満」の回答割合が多かった項目は、前回の調査結果と同じであった。「不満」、「やや不満」の回答については、全ての項目において回答割合の減少が見られた。

「奈良市の環境の重要度」について、「とても重要」「やや重要」の回答割合が多かった項目のうち、「道路環境」、「ごみの処理、リサイクル活動」の回答割合が上昇していた。「重要でない」、「あまり重要でない」の回答割合が多かった項目は、前回の調査結果と同じであった。

問5「環境保全活動に参加したいと思う割合」について、「積極的に参加したいと思う」、「関心のある活動には参加したいと思う」、「機会や時間があれば参加したいと思う」の割合は56.7%で、前回調査結果を下回る結果となった。

問9「今後、行政が重点的に進めるべき施策」について、自然・歴史分野では、「環境破壊の恐れがある開発行為の防止」、生活環境分野では、「ごみなどの不法投棄防止対策の推進」、都市環境分野では、「安全な道路空間の確保」、地球温暖化対策分野では、「二酸化炭素吸収源としての植林や緑化」、環境教育分野では、「学校や社会での環境教育・学習の推進」、その他では、「環境に関する情報の提供」が回答割合の高い項目となっていた。

問10「環境に関するキーワード調査」について、「環境全般」の知っているでは、「電力自由化」が、聞いたことがあるでは、「バイオ燃料」が回答割合の高い項目であった。「奈良市の環境施策」では、知っている、聞いたことがあるとともに「使用済み小型家電の回収」が回答割合の高い項目であった。

#### 【事業所アンケート】

問3「企業の環境への取組と企業活動のあり方」について、「企業の社会的責任（CSR、社会貢献を含む）の1つである」の割合が増加していた。

問4「環境に関する取組状況」について、実施しているでは、「従業員への環境教育の実施」の項目が高く、前回調査より高い割合を占めていた。今後も実施することは考えていないでは、「環境関連表彰制度の実施」の項目が高く、次いで「環境担当部門、又は環境担当者の配置」の項目が高くなっていた。

問9「事業所での使用量、排出量の把握状況」について、前回の調査結果に比べ、ほぼ全ての項目において、使用量を把握している企業の割合が増加していた。その一方で、灯油、軽油、その他の燃料の使用量と車両の年間燃料使用量については、把握している企業の割合に若干低下が見られた。

問10「事業所の環境保全への取組」について、すべての回答結果において前回調査結果と上位5項目中3項目以上が同様の項目となっていた。その中で「検討中である」と回答した項目では、新たに「レジ袋の削減（有料化、マイバッグ持参PR、マイバッグ持参者への特典等）」、「コージェネレーションなどの省エネルギーシステム導入」の回答割合が高くなっていた。

#### 【中学生アンケート】

市民、事業所アンケート調査に加えて、今後の環境教育・学習での参考や計画改訂時の比較資料として活用するため、奈良市内の中学校に通学する生徒約200名を対象に市民アンケートから主な項目を抜粋しアンケート調査を実施した。

##### ○質疑・意見の要旨

- ・調査の概要にアンケート調査の目的を入れてはどうか。
- ・前回の調査結果との増減を視覚的に訴えられるように併記してはどうか  
→全ての項目について対応できなくても、訴えたい項目のみでも比較できるようにしたい。
- ・市民アンケート問2の回答で中部ゾーンの回答率が下がっている要因は何か把握しているか。  
→前回と抽出方法を変更したためと考えられるが、詳細は把握できていない。
- ・市民アンケート問3の奈良市の環境の重要度と自由記述を比較し、重複している回答があるのではないか。
- ・重要度の低いものに「④文化財や寺社の保存」が入っている。前回よりポイントも下がっているが、文化財や寺社は他にはない奈良の特徴である。それを守っていくためどうするかが重要である。
- ・重要でないという結果だけを見るべきではない。文化財や寺社といった奈良の特徴が奈良にはあるのが

当たり前と思っている人もいる。重要度が低いからといって、需要も低いわけではない。奈良には緑や文化財があって当たり前で重要なものである。

・市民アンケート問9のその他の項目では、環境に関する情報提供を望んでいることが伺える。国から出ている情報はわかりにくい。どのようなことに取り組みばよいのか市民の方からするとわからないのではないか。

・情報については、情報量の問題、質の問題、伝え方の問題がある。提供の方法も選ばなくてはならない。→個々の情報発信元と連絡を密にし、分かりやすく集約して提供したい。

・市民アンケート問10のキーワード調査は、マスコミでのヒントに大きく左右されているように思う。奈良からどこまで発信できるのか。

・自由記述を参考に計画の見直しを進めるならば、項目ごとに整理し列記してはどうか。

→記述内容を事業提案、意見等に分け、項目ごとに整理したい。

・自由記述の項目に、ごみのマナー、情報等、次のアンケートの参考となる項目がある。

・情報提供については、「来たら得、来なかったら損」の様に、「知ったら得、知らなかったら損」となるような情報を掘りおこしていくと伝えたいことが伝わるのではないか。

・中学生アンケートを実施しているが、環境基本計画には、市のコンセプトがある。軸を一本通して、コンセプト実現に向け環境教育を進めていけば良いのではないか。

次に、奈良市環境基本計画(改訂版)中間見直し及び奈良市地球温暖化対策地域実行計画の改訂について事務局よる説明のあと、参加者に意見を求めた。

奈良市環境基本計画(改訂版)の中間見直しについて、全体構成のイメージとして未定稿ではあるが、素案の骨子を作成した。

1章では、中間見直しの背景と趣旨を示している。奈良市環境基本計画(改訂版)策定から5年が経過することや、昨年のCOP21でのパリ協定や国の地球温暖化対策計画を受けて中間見直しを行うこととした。中間見直しでは、奈良市の目指す「奈良市の望ましい環境像と分野別将来像」や「リーディングプロジェクト」等の奈良市環境基本計画(改訂版)の根幹となる部分は継承していくこととし、「第4章 望ましい環境像を実現するための施策」を中心に見直していきたいと考えている。

2章では、奈良市環境基本計画(改訂版)にある分野別施策の参考となる指標のこれまでの評価について示している。最新年度の現状値をふまえ、目標値にどれくらい近づいたか、目標の達成見込、これまでの取組状況を示している。

3章では、先ほどの案件で説明したアンケート調査結果を抜粋して示している。

4章、5章は、今回の中間見直しの主な部分となる。現在、施策担当課において施策の見直しを行っている。事業の拡大、廃止、方針転換等を反映し、参考となる指標、その目標値や基本施策、リーディングプロジェクトの中・長期の具体的な施策の取組等を見直していきたいと考えている。

奈良市地球温暖化対策地域実行計画の改訂について、現在2030年度の将来推計について算定を行い、目標値の検討を行っている。次回の会議の際に算定結果をお示ししたいと考えている。

○質疑・意見の要旨

- ・市全体のコンセプトを前面に出してはどうか。
- ・公園の施策が進んでいない。しかし、市民アンケート調査結果では自由記述の項目に公園に関する記述が多い。
- ・奈良市環境基本計画(改訂版)の中間見直しでは、4章の全てを見直しするのか。その中で、一番のポイントとなる項目は、温室効果ガス排出量の削減に関する項目になるのか。
- そのとおりである。現在施策担当課に施策の見直しを依頼している。その中でも、温室効果ガス排出量の削減に関する項目が見直しの一歩のポイントである。
- ・その項目についても、環境基本計画推進会議で議論するのか。
- 奈良市地球温暖化対策地域実行計画の改訂に関する参考資料を提示し、次回の会議で意見をいただきたいと考えている。
- ・施策をどのように進めるかについては、担当課の判断になるが、アンケート結果や毎年度の施策の参考となる指標に対する評価コメントをふまえどうしたかという評価コメントとの接点を重要視してもらいたい。
- ・ガスや電力の自由化が進む中排出量の計算ができるのか。
- 市役所の排出量については、個々の契約先が把握できるので計算はできると考えられるが、奈良市全体となると難しい。この点については、国も推計方法を示していない。国の動向をふまえ精査していきたい。
- ・参考となる指標の見直しは、現状値や目標を後退させることもあるのか。
- それもふまえての見直しと考えている。昨年度上位計画である第4次総合計画を見直しているが、そこで見直している指標等は上位計画に沿わせていく。実行性のある計画にしたいと考えている。
- ・奈良市環境基本計画(改訂版)は、10年計画の5年目となる。目標に向け、どこまで来たか見えるようにしてほしい。予算面や評価コメントのフィードバック結果についても同様に見えるといい。

次に、今後の予定について、事務局より説明がなされた。

次回の会議については、平成28年度(平成27年度実績)の評価コメント(案)の取りまとめについてご意見をいただきたいと考えている。8月25日から31日の間で開催したいと考えている。

⇒8月25日、29日、30日、31日を候補日として、日程調整をすることとした。